鈴木ユキオ Yukio SUZUKI

「YUKIO SUZUKI projects」代表／振付家・ダンサー。世界50都市を超える地域で活動を展開し、しなやかで繊細に、且つ空間からはみだすような強靭な身体・ダンスは、多くの観客を魅了している。また、プロのダンサーや、子供達、障害のある方への振付作品の提供、ミュージックビデオやモデル活動、さまざまな方を対象にしたワークショップを各地で実施し、舞踏を基礎にした独自のメソッドを用いて、新しい「ダンス」の可能性を追究している。

所属カンパニー　鈴木ユキオプロジェクト
ホームページ　http://www.suzu3.com/
連絡先(担当)　安次嶺菜緒（あしみねなお）
E-mail　kingyo.company@gmail.com

Photo:bozzo

活動歴・受賞歴

○活動歴
〈2000年〉自身のカンパニーを創立
〈2005年〉横浜トリエンナーレ参加
〈2009年〉トヨタコレオグラフィーアワード受賞者公演（金沢21世紀美術館・シアタートラム）
〈2013年〉お茶の水女子大学・舞踊教育学コースにて非常勤講師を務め、委嘱作品を発表
〈2014年〉障害のある人とない人で構成されるダンスカンパニーにて共同芸術監督を務め、作品を発表
〈2015年〉チェコのダンサーへの振付作品にてチェコツアー実施（TANEC PRAHA主催）／音楽家（山川冬樹・Wayne Horbizなど）との共同作品を発表／ACCグランティとしてニューヨークに5ヶ月滞在

○受賞歴
〈2003年〉STスポット「ラボアワード」受賞
〈2004年〉「東京コンペ#1」入選
〈2005年〉トヨタコレオグラフィーアワード2005「オーディエンス賞」受賞
〈2007年〉京都芸術センター舞台芸術賞ノミネート
〈2008年〉トヨタコレオグラフィーアワード2008「次代を担う振付家賞（グランプリ）」受賞
〈2011年〉「週刊オン★ステージ新聞」新人ベスト1振付家
〈2012年〉パリ市立劇場「Danse Elargie 2012」にて10組のファイナリストにノミネート

ワークショップ歴

〈2005年〉「舞踏から始まる、自分流身体訓練講座」（対象：一般　主催：セッションハウス）
〈2011年〉愛知芸術文化センターWS（対象：経験者・一般）
〈2013年〉劇的！ウィンター「ダンスじゃないダンス！？」（対象：子供　主催：福岡市芸術文化振興財団）
〈2014年〉ダンス指導者のための教材「ダンスリーフ」作成のための模擬WS（対象：小学生）
〈2014年〉障害のある方のためのWS（対象：視覚障害者・身体障害者・知的障害者など）
〈2015年〉パフォーマンスキッズトーキョー「だから きみのからだ」（三鷹市公会堂）（対象：小学生）＊WS後、劇場作品を発表
〈2015年〉ニューヨークjapan society・WS（対象：子供・一般）

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

❶学校でのアウトリーチ

小・中・高校で実施。ゲームや、イメージを持ちながら動くことなど、簡単なルールを使って、楽しみながら、身体を動かし、ダンスになる瞬間をつかみます。「これってダンス！？」と思いながらも、のびのびと身体を動かす気持ちよさと、これまで感じたことのない身体の中を意識し感じることができるプログラム。

❷教員へのアウトリーチ

教員を対象に、「ダンス」という固定概念にとらわれず、遊ぶように、自分の身体を感じ、新しい可能性を探るプログラムを共有します。

❸福祉施設でのアウトリーチ

簡単なイメージを持ちながら、自分の身体を動かすことで、ありのままの自分を受け入れ、これまで経験したことのない自由なダンスの世界を楽しみます。

公募ワークショップ

❶一般の方を対象にしたワークショップ

どなたでも気軽に「カラダ」「ダンス」を楽しめるプログラム。カラダの内側を感じることと、カラダの外側・空間を意識することを通して、楽しみながら、自分だけのダンスを一緒に探します。

❷経験者ワークショップ

ダンス・身体表現の経験者を対象に、今ここにしかないダンスを探すプログラム。「型」があるから「型」を破ることができるというように、それぞれのバックグラウンドを踏まえた上で、そこからどれだけ遠くに行けるかをトライするヒントになるクラスを行います。

❸子供ワークショップ

子供ならではの自由な発想を生かしながら、いままでみたことのない「ダンス」に挑戦します。親子での参加も可能。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

『春の祭典』

ストラヴィンスキー作曲【春の祭典】で踊るデュオ作品。社会情勢やダンスの歴史を感じながら、現代を生々しく生きる命のたくましさを感じさせる作品。魂と身体を揺さぶる圧巻のダンスは、多くの観客を魅了している。

▶上演時間：約60分　▶出演者数：２名
▶同行スタッフ：照明　▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名　▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：8m×8m以上あれば望ましいが、応相談
(2)床：応相談
(3)必要機材、舞台セット：映像プロジェクター、ファイルボックス
▶その他：ギャラリーなど、あらゆる空間での上演が可能な作品です。

市民参加作品

『オリジナル作品（タイトル未定）』

WSを通して生まれた、オリジナルの動き（ダンス）を丁寧に紡いで、作品につなげましょう。それは、ここで、いま、わたしたちにしかできない、ありのままの「ダンス」になります。
例として、地域の歴史からインスピレーションを受けた作品や、地域出身のアーティストや文芸作品の世界をダンスのテーマに盛り込んだ作品、鈴木を始めとしてカンパニーダンサーも市民と共に出演する作品を制作している。

▶上演時間：30～50分 ▶出演者数：1～4名
▶クリエーションワークショップの参加（出演）人数・回数：10～25名程度・5～10回程度 ▶同行スタッフ：演出助手・音響・照明のいずれか ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶上演環境：
(1)会場の広さ・形状：応相談
(2)床：リノリウム
(3)必要機材、舞台セット：応相談